

## ◎ 今月のトピック

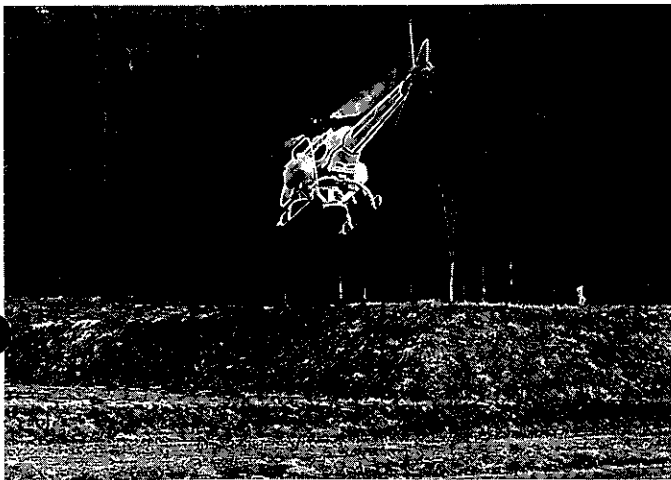
### ◆ 「南会津の水稻直播栽培、倍増」

県内では、苗をつくらず、田に直接種もみを播く、水稻直播（ちよくは）栽培が増えています。

直播栽培は、春作業を省力化できるため、高齢化の進む南会津でも注目の技術です。南会津の直播実施面積は、去年は約10haでしたが、今年は約25haと、2倍を超える増え方です。

4月18日に田島町で始まった直播の播種作業は5月6日の館岩村を最後に終了しました。特に、今年は無人ヘリコプターによる播種が、去年の試験的実施に続いて、伊南村の基盤整備地区を中心に、大規模に行われました。

早生品種に限られるなど、まだ問題点も残されていますが、直播栽培面積の一部が生産調整にカウントされるなど、様々な支援があります。興味を持たれた方はどうぞ普及センターまでご相談ください。



無人ヘリによる播種作業

### ◆ 9名の森林保全巡視員に委嘱状

4月8日午前9時から南会津合同庁舎において、斎藤森林林業部長から9名の森林保全巡視員に平成11年度の委嘱状が交付されました。

森林保全巡視員は、管内の町村長から推薦を受けて選ばれ、県営林及び保安林を中心に森林の有する国土の保全、水資源のかん養等の機能維持増進を図るためパトロールを行います。具体的には、無許可伐採、開発行為、盗伐、ゴミの不法投棄の防止指導と発見、森林の災害と病虫害の早期発見等の業務にあたっています。

委嘱状交付式の後、平成11年度の業務内容についての打ち合わせが行われ、巡視の際は袋を持っていき、林道沿線にあるゴミの収集に積極的に努めることが提案されました。

### ◆ 山火事に注意！

春風のさわやかな4月22日に、田島地区及び下郷地区において山火事予防パレードが開催されました。

パレードは、消防本部やNTT、東北電力、町村並びに森林組合、会津流域森林管理署、南会津農林事務所等で構成する山火事予防対策協議会の主催で実施され、道行く人々や子供達にチラシや風船を配布して山火事の予防を呼びかけました。

山火事といえば、今年2月に浪江町で発生したものが記憶に新しいところですが、ここ南会津では、雪が融け、空気が乾燥しやすいこれからの時期に気をつけなければなりません。また、山火事の原因は、たばこの投げ捨てや、たき火の不始末など、人為的なものがほとんどです。

南会津郡は、山菜取りや釣りなどを目的とした県内外からの入山者が多いことから、パレードのほか、横断幕やのぼり旗の設置、パトロールの実施や入山者へのチラシ配布等を行い、山火事の予防に努めておりますので、読者の皆さんも山火事の予防にご協力くださるようお願いいたします。

なお、あなたの大切な森林を守るため、まさかの備え「森林共済セット保険」への加入もよろしくお願いいたします。

### ◆ 農作物を遅霜から守れ

～南会津対策本部を設置～

4月13日に農作物を遅霜から守るための南会津地方防霜対策本部が合同庁舎内に設置されました。対策本部は、農林事務所と普及センターで組織し、本部長を務める横田泰助所長等が、合同庁舎前に看板を掲げました。また、遅霜注意報が発令された際には各町村などに連絡し、被害防止に務めることとなります。

対策期間は、6月10日までとなっています。

## ★ 地域紹介コーナー …… 只見町 ……

### 「緑と水と心のふるさと」

…… 只見は集落活性化に向けてやる気ムンムン ……

産業課長 馬場新介

十年ひとむかし……と云うが今から十年前までは特に話題にあがらなかった「活性化対策」という言葉……しかし昨今は急速に進む高齢化そして少子化の中で「自分たちの住んでいる町をよくするためには、そこに住んでいる人達が、しっかりした目標を定めみんなで力を合わせ組織づくりをし、行動する以外の道はない。」という認識が定着しつつあるのか、27集落で積極的な取り組みが行われている。

只見町にはどこの町村にも負けないすばらしい大自然がある。その自然を自分たちの目でもう一度見直すために美しい山、川、草花、暮らし、伝統行事など有形、無形の「宝さがし」が目立っていることだ。

数多い取り組みの中で、特に目立った活動に山村での暮らしを体験するために町の活性化施設「森林の分校・ふざわ」がある。

この施設は、廃校になった布沢分校を体験型グリーン・ツーリズムに利用して布沢集落の活性化に繋ごうと整備されたものであり、体験の先生はすべて集落の人、大自然満喫と史跡めぐり……分校に泊まって集落でとれたものを食べ、ホテル

を見、星空を見て友と語れる出会いの場である。

オープンして3年目、都市と集落の人との交流がどんどん増えている。まさしく過疎化の進む布沢集落の親戚づくりである。県内ではいわき市に次ぐ雄大な面積を有する『自然の宝庫只見町』の集落の活性化は21世紀に向けて限りなく広がっていくことだろう。



「森林の分校・ふざわ」で体験学習をする千葉県柏市児童スクールの皆さん

## ★ この人を知りたい

今回は、地域づくりのリーダーとしてご活躍されています芳賀沼伸さんについて、南会津グリーンストッククラブの活動内容など紹介していただきました。

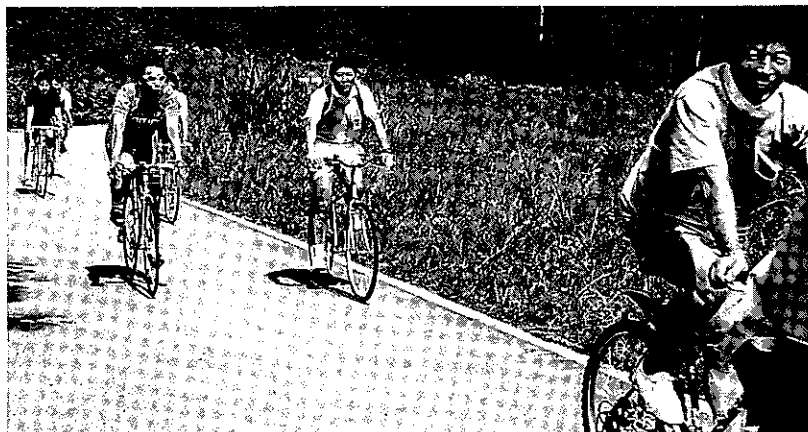
南会津グリーンストッククラブ 事務局長 芳賀沼伸

南会津グリーンストッククラブは、平成7年の暮れ、南会津に学習組織を作り「グリーン・ツーリズム」の考えをもとに地域活性化を目指そうという声が起こり、平成8年5月に発足いたしました。現在会員数は38名、田島町・下郷町・館岩村を中心に県内外から集まっています。

今までの主な活動内容としては平成9年10月に「南会津グリーン・ツーリズム国際大会」を開催しました。招待者は海外からイギリス、ブリストル

大学バーナード・レーン教授等7名、国内から13名の方々に、基調講演や4分科会で今後の南会津地方のグリーン・ツーリズムの方向について活発な意見交換や討論を行いました。

それから、会津鉄道の協力のもとで「トレイン&バイク」のイベントを行っています。「トレイン&



トレイン&バイク (写真右端が芳賀沼さん)

バイク」とは、南会津の自然にやさしい「等身大」の移動手段として列車の中に自転車を持ち込み、サイクリングの行動範囲を大きく広げようとしているものです。平成8年から10年までで11回を数えました。

さて、今年度は3つの活動計画を立てています。

1つは先にもあげた「トレイン&バイク」を5回予定しています。フィールド開発に向けてタクシーなどとの連携を試み、コースづくりへの調査を予定しています。

2つめは山村振興のための野外教育と人材育成事業（NPO・自治体・大学間のパートナーシップ）です。具体的に言いますと筑波大学の正規授業を地域で展開し、それを地域住民にも公開していくことをねらっています。このため、ソフト授業とハード授業が一体になったプログラムが必要になり、継続性が求められており、さらに、地域経済効果をねらった野外教育授業を地元の人材と大学の人材とが協力して立ち上げることを目指しています。

3つめは、田島町・南郷村・昭和村に位置する駒止湿原を考え、暮らしを工夫することです。これは、大いなる自然の確かな恵みの中で今を生きることを感謝し、この豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐと共に自然との共生を計り、駒止湿原を共有の持続すべき貴重な資源との意識を持って行きたいと思っています。以上が今年度の3つの活動計画です。

私たちの南会津グリーンストッククラブは実践提言団体です。「継続と楽しく」をモットーに持続可能なスタイルで活動していきたいと思っています。

## 特集！南会津地方グリーン・ツーリズム活動について

グリーン・ツーリズムとは、「農山村に滞在し、豊かな自然や文化、人々とのふれあいを楽しむこと」という意味で使われることが一般的です。とはいっても、決まった形式はなく、全国で様々な形での取り組みが行われているようです。

当南会津地方では、平成7年11月に管内各町村や県関係機関などで構成する「南会津地方グリーン・ツーリズム推進協議会」を発足して、推進大会の開催や啓蒙活動、パンフレットの作成などを行ってきました。

昨年度は、まるごと体験モニターツアーと題して全4コース、2泊3日のグリーン・ツーリズムツアーを設定して、首都圏などから多数の参加がありました。参加した方は、陶芸、藍染め、じゃがいも掘り、そば打ちなどの体験メニューや、駒止湿原散策やトレイン&バイクでのそば畑サイクリングなどを行い、南会津の自然や文化を満喫していきました。また、グリーン・ツーリズムの先進地から講師を招いて、地域の取り組み現状などについての講演会を開き、意見交換を行いました。

本年度の活動は、田島町、館岩村、伊南村、只見町の4町村ごとに協議会を設置、併せてモニターツアーを実施し、各町村の地域資源を生かした特色あるツアーを行う予定です。

また、人材の育成としてグリーン・ツーリズムの「まとめ役」になるコーディネーターの養成や、「先生役」になるインストラクターの発掘も行い、より内容のあるツアーが出来るようにしたいと思

います。

さらに、グリーン・ツーリズムについての情報誌的な南会津地方のガイドブックを作る予定で、花や紅葉のみどころ、体験メニューなど詳細な情報について満載しようと考えております。同時にインターネットを使ってグリーン・ツーリズム関連のリアルタイムな情報を流し、南会津地方のグリーン・ツーリズムを全国にPRすることも考えておりますので、ご覧になられる機会も増えるかもしれません。



そば打ち体験

このような活動からグリーン・ツーリズム推進協議会では、南会津地域の経済的な効果はもちろんのこと、都市に住む人たちとのふれあいをとおして、より元気な人や地域作りに寄与出来ればと考えています。

～研修会・講習会のお知らせ～

農業短期大学校・会津農業センター研修

内 容	日 時	場 所
①ライス・ステップアップ講座 内容：市場変動に対応した技術	5 / 26	会津農業センター
②トラクタ基本運転（第1回） トラクタの基本的操作と安全運転技術を修得し、大型特殊自動車運転免許（農耕車限定）の取得を目指します 対象：普通自動車免許所有の農業者	5 / 31～ 6 / 3	農業短期大学校内
③家庭菜園講座 ～栽培技術と楽しみ～ 内容：野菜の生理、春夏野菜の栽培技術	6 / 1	農業短期大学校内
④農村女性研修 ～農村女性起業をめざして～ 内容：農村女性の起業化 女性起業化の事例紹介と起業家へのポイント	6 / 4	会津農業センター

※お申込み・お問合せ先：南会津地域農業改良普及センター TEL 0241-62-5262

窓

出かけない連休

5月1日から9日まで、近年にない大型連休となる。

薫風感じて心地よい汗をと、安、近、短よろしく、どこかに出かける人の多い連休。小生の場合は常に家、ただひたすら、連日盆栽の植替、家内もあきれほど、早朝から夕方まで五葉松やサツキの手入れ、芽摘みと、仕事を一切忘れて楽しむ。

しかし、在宅を知る知人、友人が常に来訪、野点よろしく、庭でのお茶であったり酒になったりで、この語らいがまた楽しい。

息子夫婦と孫2人も5連泊。3歳の孫とママゴトも、おじいさんはパパの役「パパ起きなさい、共稼ぎなんだから、ちゃんと早起きしないと駄目でしょう」「ただいま」「あら、お帰りなさい、御飯作ってないわよ。何か食べてこなかったの」・・・いやはや

孫も帰り、盆栽の手入れも一段落、となるとやはり足がそわそわ、出かけないつもりが、最終日に友人数人と「二岐山」の山開きへ。

「翌日は檜になろう」のアスナロの林の中、那須連山を背にひたすら登る。まさに心地よい汗である。

オオカメノキ、タムシバの白花も歓迎、ミズナラ、ブナなどの新緑がまぶしく、まさしく目に青葉、山ホトトギスならぬ、会津弁で鳴く(?)ウグイスの声を聞き、秘湯にドブんで、反省会は初ガツオ。

これにて、9連休はお開き。

所長 横田

3ヶ月予報

仙台湾気象台発表の「東北地方3ヶ月予報」

5月 低気圧や高気圧が交互に通るでしょう。天気は周期的に変わりますが、平年同様晴れの日が多いでしょう。平均気温は平年並みの見込みです。

6月 日本海側は平年と同様に天気は周期的に変化しますが、ぐずつく時期があるでしょう。太平洋側は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

7月 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

お問い合わせ

あて先 〒967-0004

福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所企画部 地域農林企画室

TEL 0241-62-5866 FAX 0241-62-5349

みなさんのご意見ご感想をお寄せください。

郵便・FAXどちらでも結構です。

この広報誌は再生紙を使用しております